

厚生労働省特定事業主行動計画の策定について

16年6月17日

1. 計画の枠組み

○厚生労働大臣と社会保険庁長官の連名で策定（平成17～21年度の5年計画）

2. 策定体制

(1) 厚生労働省特定事業主行動計画策定・推進委員会

○特定事業主行動計画の策定・変更、推進について審議するため、「厚生労働省特定事業主行動計画策定・推進委員会」を省内に設置 → 官房長が委員長、官房課長・各局総務課長等で組織

(2) ワーキンググループ

○計画案について自由に意見交換し議論を深めるため、上記策定・推進委員会の下にワーキンググループを設置 → 本省の若手を中心に20名で組織

(3) アンケート調査等

○策定・推進委員会及びWGにおける検討に資するため、職員アンケート（2種類）を実施
①「特定事業主行動計画策定に関するアンケート調査」→ 全職場対象、1/20抽出
②「本省・本庁職員が利用できる託児施設に関するアンケート調査」→ 本省対象、悉皆
○このほか、地方支分部局や施設等機関も含め、職員からの提案は事務局で随時受け付け。

(4) 事務局

○官房人事課（会計課、地方課、社会保険庁総務部総務課・職員課が協力）

3. 策定の進め方

時 期		事 項	内 容
15年	10月23日	・委員会（第1回）	・経緯説明、策定方法、自由討議
	11月11日	・WG（第1回）	・経緯説明、アンケート内容討議①
	11月18日	・WG（第2回）	・アンケート内容討議②、主要論点の討議①
	12月	・アンケート配布	・12月中に回収
16年	1月	・アンケート集計	・集計作業
	2月13日	・委員会（第2回）	・モデル計画・アンケート結果、自由討議
	2月17日	・WG（第3回）	・モデル計画・アンケート結果、主要論点の討議②
	2月27日	・WG（第4回）	・主要論点の討議③、論点整理
	3月10日	・WG（第5回）	・計画案の討議①
	3月24日	・WG（第6回）	・計画案の討議②
	3月25日	・委員会（第3回）	・計画案の討議
	4月7日	・WG（第7回）	・計画案の討議③
	4月27日	・委員会（第4回）	・計画案のとりまとめ
	4月30日		・公表

* このほか、庁内の幹部会議（局長等で構成）においても随時議論

「厚生労働省特定事業主行動計画」の概要

次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第19条

行動計画策定指針に即して①計画期間②次世代育成支援対策の実施により達成しようとする目標③実施しようとする次世代育成支援対策の内容及びその実施時期を策定する

「育児に親しむ職員プログラム～職員みんなで支え合う育児へ～」の策定

- 計画期間 平成17年度から5年間
 - ・実施可能なものは平成16年度より実施
 - ・平成21年度の達成目標を記載
- プログラムの実施に当たって
 - ・「誰」が、「いつ」、「何を」するかを明確化
 - ・毎年度の実施状況を厚生労働省特定事業主行動計画策定・推進委員会でフォロー
- 具体的には
 - ①制度を知ることが第一歩
 - ・育児休業等の制度をハンドブックにまとめて配布、子育てアドバイザーの募集等
 - ②子どもの出生時における父親の5日間以上の連続休暇を取得しやすい環境をつくるために
 - ・職場の中での応援態勢づくり、休暇計画表の作成 等
 - 子どもの出生時における父親の5日間以上の連続休暇の取得率を50%にします
 - ③育児休業を取得しやすい環境をつくるために
 - ・育児休業や年次休暇などの取得の参考例を紹介した「お勧めプラン」の作成・配布
 - ・育児休業中の職員へのパソコン貸し出し 等
 - 育児休業等の取得率を男性55%、女性92%にします
 - ※子どもの生まれる前後の連続5日間以上の育児休業的な休暇の取得率を含む
 - ④超過勤務を縮減するために
 - ・育児(19時)に帰ろうマイホームキャンペーンの実施
 - ・超過勤務に対する意識向上のため管理職員へ自己診断チェックリストを配布
 - ⑤年次休暇の取得を促進するために
 - ・業務が繁忙な職員のために水曜日午前中の会議自粛、半日休暇の励行
 - ・職員が育児に親しむため 毎月19日を厚生労働省の「育児の日」とする
 - ・休暇計画表を配布し、休暇の取得を励行
 - ・入学式などの学校行事や家族の誕生日などの時に年次休暇取得を働きかける
 - 職員一人あたりの年次休暇取得日数割合を80%(平均16.0日)にします
 - ⑥子どもの看護を行う等のための特別休暇の取得を促進するために
 - ・突発的な病気の際には、100%休暇を取得できるよう職場全体で支援する
 - ⑦子どもとふれあう機会を充実させるために
 - ・厚生労働省こども参観週間の実施(毎年7月から8月の1週間)